

平成26年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体	IFMSA-Japan SCORA (国際医学生連盟 日本 性と生殖・AIDSに関する委員会)	
実施事業名	Peer Education Project	
団体代表者	山田 舞耶	
事業の目的	ピアエデュケーションを通じて、若者世代に性に関する正しい知識を共有することで、望まない妊娠、HIV/AIDSを含む性感染症、デートDVを防ぐための方法や、LGBT (多様な性のあり方) についての理解を深め、命の大切さや自分の体を自らが守り愛しむこと、相手の気持ちを考えたコミュニケーションのあり方について考えるきっかけを提供すること。	
事業の達成度	<p>今年度は全国9地域にて各地域活発なPeer Education活動が行われました。合計年間約3400名の全国の中高大学生などの若者世代に性に関する正しい知識と「じぶんごと」として考える機会を提供して参りました。今年度の活動を機会の増大と質の向上という側面からご報告いたします。まず、今年度になり新たにPeer Educationをさせていただける機会を多くいただきました。特に、関東と東北地域でははじめて中学そして高校でのPeer Educationの実施を行うことができました。その背景には、今年度から新聞や雑誌やラジオなど多くのメディアにてお話をさせていただく機会をいただき、それをご覧下さった教職員の方がご依頼をくださったことがあります。また、今年度は世界エイズデーのキャンペーンを各地域で街頭や大学内で行い、多くの一般の方にHIV/AIDSについて考える機会を提供することができました。</p> <p>質の向上では、まず普段は各地域で活動を行っている全国のスタッフが一緒になり、オンラインやオフラインで授業体系や伝え方について共に考える機会を多く持ちました。そして、今まで以上にご依頼をいただいている教育機関との事前の打ち合わせやアンケート結果をもとにした生徒さんの心に寄り添うPeer Educationの構築に力を注いで参りました。アンケートを統計学的にそして客観的に評価をする試みは各地域では行われつつも、まだ全国として統一されていないので、それを行っていくことが今後の課題です。</p>	
事業実績	対象となった人数	全国の中学生、高校生、予備校生、大学生 (約3400人)
	具体的な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ①ピュアエデュケーション 計16回 ②出張HIV検査相談 計2回 ③World AIDS Day キャンペーン 計4回 ④東京プライドパレードフロート出展 ⑤京都AIDS文化フォーラム ⑥学園祭参加